

CONTENTS

監修に寄せて	2
刊行にあたって	3
執筆者一覧	6

第Ⅰ章 口腔バイオフィルムと制御技術“3DS”

1. 口腔微生物叢と口腔バイオフィルムとは？	8
2. アンチエイジングにおける歯科の役割—糖尿病にも3DS	18
3. 一次予防と二次予防の区別とメリット	22
4. 予防歯科の守備範囲	25
5. ルーチンチェックアップのメニューが示すものは？	28
6. Dental Drug Delivery Systemの概要	34
7. 口腔病原微生物の検査・評価	
1) PCRによる検査	
①サリバチェックラボPCR	40
②モバイルPCR装置の歯科臨床応用の可能性	45
2) 培養法による検査	47
8. 位相差顕微鏡による口腔バイオフィルムの画像診断	52

第Ⅱ章 各種口腔病原性微生物叢と疾病の関係
—口腔バイオフィルムと全身疾患

1. 消化器疾患と口腔病原細菌	62
2. 口腔とウイルス感染症との関連	77
3. 口腔細菌と循環器・呼吸器疾患	
①アテローム性動脈硬化	86
②歯原性菌血症	90
③慢性炎症とエンドトキシン	95
④黄色ブドウ球菌とスーパー抗原	98
⑤口腔細菌と誤嚥性肺炎	101
4. 口腔細菌と人工関節周囲感染	104

第Ⅲ章 歯周病予防 (武内博朗)

1. 3DS化学(抗菌)療法を加えた歯周基本治療	112
2. 歯周病関連バイオフィルムの制圧法と概念	118
3. 歯周病関連菌の検査	120
4. セルフケア指導、生活習慣指導	122
5. 化学療法に先行するバイオフィルムの機械的除去	124
6. 化学(抗菌)療法による除菌	132
7. 歯周基本治療(ペリオ集中消炎コース)実施症例	139
8. 除菌処置前後での生活習慣の対比とまとめ	146

第Ⅳ章 う蝕予防

1. う蝕原性細菌の感染予防	148
2. 3DSによるう蝕原性細菌の除去	151
3. 細菌検査と3DS実施判定評価	155
4. 3DSによるMS菌の除菌 化学的除菌の実際と臨床成績	163

第Ⅴ章 ドラッグ・リテーナー (早川浩生)

1. 3DSの要はドラッグ・リテーナー	172
2. ドラッグ・リテーナーの製作要件	174
3. ドラッグ・リテーナーの製作および取り扱いの注意点	176

第Ⅵ章 3DSの臨床例と臨床成績

1. 重度歯周炎に対する3DSを用いた歯周病菌除菌 —重度歯周炎患者117名に対する3DS除菌・治療の臨床成績	180
2. 出血性素因を有する歯周病患者への3DS —周術期口腔機能管理への応用を中心に	190
3. 終末期における3DSの役割 —3DSによる肺炎の抑制効果	196
4. 「歯の健康ステーション」の実践	202

第Ⅶ章 口腔保健と生活習慣病(NCDs)の発症予防・重症化予防
—3DSの除菌療法から続く歯周組織修復

1. 口腔細菌叢を悪化させる食品群・食習慣	208
2. 口腔組織修復のための栄養学 —お口の組織や歯は栄養の鏡	213

第Ⅷ章 保険診療による予防歯科 (小野清一郎)

1. 保険診療への重症化予防の導入に伴うSPT —予防を認めなかった疾病保険制度の方針転換	218
2. 特定健診・特定保健指導—手付かずのままの地域保健事業	220

COLUMN: ICCMS (国際う蝕分類・管理システム) (花田信弘)	33
--------------------------------------	----

